

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立田川小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

- 学期に2回の「いじめアンケート」や「相談機能」を活用していじめ等の早期発見・早期解決に努めている。
- 毎日の「心の天気」によって日々の気持ちの変化を見守り、適切な言葉がけを心がけている。
- 生活指導連絡会(スクリーニング会議Ⅰ)を毎月行い、配慮が必要な児童についての情報を教職員で共有することで児童に寄り添った対応や解決につなげている。
- スクリーニング会議Ⅱを每学期定例開催し、学校・区役所・SC・SSW・地域等との情報交換を積極的に進め、連携を深める場となっている。
- たて割り活動や、児童会が主体となる活動(毎学期の「あいさつ週間」の計画、学校のきまりの検討、校則の見直し)等、児童が自主的に活動を広げていく場が多く見られる。
- 校内の安全についての意識を高めていくこと課題としている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 算数科を研究教科とし、算数科のものの見方・考え方に加えて、交流活動を通して自分の考えを伝えあい、広げ、深める力の育成に取り組んだ。その結果、全国学力・学習状況調査では全国平均を上回る成果を上げた。
- 漢字検定では、各々が自分の目標に向かって計画的に漢字学習を行う意欲が高まった。
- 全学年で出前授業・社会見学・芸術鑑賞等の体験学習の機会をもち、多様な学びにつなげることができた。
- 体力向上については、マット運動・ラグビー・なわとびなど出前授業で外部講師からの指導を受けることで児童の意欲が高まった。
- 学期ごとの「けんこうチェック週間」や、学校保健委員会での取組によって、健康についての意識の高まりが見られる。
- 教材の整備、体験学習の精選が課題である。

【学びを支える教育環境の充実】

- 毎日の授業での調べ学習やプレゼンテーション機能を用いた発表活動、計算や漢字の学習でのデジタルドリルの活用、タイピングアプリの利用等、様々な学習場面で学習者用端末を活用する姿が見られた。
- 今後は使用頻度を高くすることだけでなく、活用の内容や情報モラル教育にも力を入れていくことが課題である。
- 働き方改革においては、「ゆとりの日」に対する教職員の意識が向上し、時間外労働も低い水準を保っている。放課後の電話対応時間を短縮することも効果を上げている。
- 会議の進め方の改善、教育の情報化やデータの整理・引継ぎなど、より効果的に業務の効率化を進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ◎令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。
- ◎令和 11 年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ◎令和 11 年度の小学校学力経年調査における算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を 0.8ポイント向上させる。
※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率
- ◎令和 11 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ◎令和 11 年度の小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用するときに、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ◎教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務を前年度より減少させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 8 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 令和 8 年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 8 年度の小学校学力経年調査における算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より 0.2ポイント向上させる。
- 令和 8 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 76%以上にする。
- 令和 8 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 令和 8 年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 8 年度の小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用するときに、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務を前年度より減少させる。

【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

【最重要項目 3 学びを支える学習環境の充実】

大阪府立 (学校園名) 令和 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童が「学校に行きたい」という意欲を持ち続けられる学校環境づくりを、教職員間の連携を密にしながら進めていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校に行きたい」と具体的に感じられる取り組みを、年2回以上計画する。 ・学期2回以上「いじめアンケート」を取り、実態把握と早期対応に努め、解決に向けて取り組む。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>児童一人一人の自尊感情を高める取組を進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育を含む教育活動全体を通して、学び合い、認め合う学級集団育成をし、児童の自尊感情を高める。 ・たてわり班活動、委員会活動、クラブ活動等、異学年交流を通して、児童が主体的に活躍できる場を多く設定し、学校全体で思いやりの気持ちを大切にしていく。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立田川小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より0.2ポイント向上させる。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること)」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>研究教科を算数科とし、「数学的な見方・考え方」を取り入れた主体的・対話的な算数の指導を通して、算数の基礎学力の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度の校内調査における「算数の授業の内容は分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上(前年度 86.34%)にする。 ・「数学的な見方・考え方」を取り入れた主体的・対話的な算数科の授業研究を、各学年1回ずつ行う。 ・朝学習の時間などを活用し、基礎学力の定着を図る。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>研究教科の算数科を中心として、様々な学習場面で、話し合い活動を充実させることで、自分の考えを深めたり、新たに気付いたりできるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度の校内調査における「授業中、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%(前年度 83.2%)以上にする。 ・「田川の話型」を活用し、自分の意見を交えながら、対話的な話し合い活動を行う。 ・特別活動を通じて、異学年交流の充実を図る。 	

<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 運動の楽しさを実感させ、自ら進んで体力向上に取り組み、体力を高めることができるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習において、年間計画を基に計画的に体育学習を進め、めあての達成をめざす。 ・区の「スポーツ出前講座」や「トップアスリート事業」などを、各学年ごとに1回以上活用し、運動への関心を高めるとともに、体力づくりの活動を継続していく。 	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 睡眠や朝食の大切さについて啓発し、児童が自らの健康に関心をもち、望ましい生活習慣を主体的に考えることができるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに「けんこうチェック週間」を行い、健康についての意識を高める。メディアに関するチェック項目において、自分が決めためあてを達成できたと回答する児童の割合を74%以上にする。(前年度73.1%) ・学校保健委員会と兼ねて、睡眠の大切さについての講演会を開催し、高学年児童および保護者への啓発を通して、望ましい生活習慣の定着を図る。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p> </p>	
<p>今後に向けての改善点</p>	
<p> </p>	

大阪市立田川小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用するときに、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務を前年度と同等または減少させる。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>情報モラル教育や保護者への啓発を通して、児童や保護者の情報モラルを高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル教育を出前授業を含めて、年2回以上実施する。 ・保護者に情報モラルの資料を年1回以上配布する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>会議では、議論すべき内容を精選し、仕事の効率化を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議での連絡や報告事項については、PC上の校内掲示板を利用して職員全員がいつでも確認できるよう工夫し、資料等のデータ化を行い仕事の効率化を図る。 ・ゆとりの日を週に1回設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>今後に向けての改善点</p>	